

坂本徳松 さかもと とくまつ 評論家。明治四十一年九月八日高知縣生れ、昭和六十二年八月十二日没（一九八一六）。昭和七年東京帝國大學文學部社會學科卒。帝都日日新聞社、滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）東亞經濟調査局勤務を経て、戦後インド洋問題研究協會常任理事、二十九年日本ペトナム友好協會創設、二十一年愛知大學教授。その後アジア・アフリカ人民連帯日本委員會理事等を務め、二十年以降第二世界訪問十數回に及ぶ。

著書『ガンゼイ』（昭和十九年十一月）『二十日日本評論社「東洋思想叢書」』、『ネールー人間・思想・政策』（昭和二十七年九月）『二十日日本出版協同株式會社』、『前進座』（昭和二十年六月）『青木書店「青木文庫」』等。

